

令和5年 寒修行 御法門一覧表 テーマ『お祖師さまのお心に触れる』

日付	日目	御 妙 判 (出典)	説者
1月8日(日)	第1日目	鉄(くろがね)をよくよくきたへば、きずのあらわるるがごとし(兄弟抄)	ご住職
1月9日(祝)	第2日目	道理と証文とにはすぎず。また道理証文よりも現証にはすぎず。(三三蔵祈雨事)	松本師
1月10日(火)	第3日目	毎々度々の御参詣には無始の罪障も定めて今生一世に消滅すべきか(四条金吾殿御返事)	外園師
1月11日(水)	第4日目	所化もって同体。これ即ち己心の三千具足、三種世間なり(観心本尊抄)	石井師
1月12日(木)	第5日目	日蓮一人はじめは南無妙法蓮華経と唱へしが、二人三人百人と次第に唱へつたふるなり諸法実相抄)	野口師
1月13日(金)	第6日目	(当日をお楽しみに！)	御導師
1月14日(土)	第7日目	つゆつもりて河となる、河つもりて大海となる(随自意御書)	北崎師
1月15日(日)	第8日目	受くるは易く持つは難し、さる間成仏は持つにあり(四条金吾殿御返事)	野上師
1月16日(月)	第9日目	参詣遙かに中絶せり、急急に来臨を企つべし(南条殿御返事)	松本師
1月17日(火)	第10日目	仏法は体のごとし、世間はかけのごとし、体曲れば影ななめなり(諸経与法華経難易事)	ご住職
1月18日(水)	第11日目	蔵の財より身の宝勝れたり。身の宝より心の財第一なり(崇峻天皇御書)	篠原師
1月19日(木)	第12日目	人の寿命は無常也。出る気は入る気を待事なし(妙法尼御前御返事)	野口師
1月20日(金)	第13日目	人に物をほどこせばわが身のたすけとなる。たとえば、人のために火をともしば、わがまえあきらかなるがごとし。(食物三徳御書)	石井師
1月21日(土)	第14日目	毒の変じて薬となりけるを良薬とは申しそうろうけり(大田殿女房御返事)	北崎師
1月22日(日)	第15日目	法華経を信ずる人あり。あるいは火のごとく信ずる人もあり。あるいは水のごとく信ずる人もあり(上野殿御返事)	野上師
1月23日(月)	第16日目	聖人の唱させ給題目の功德と、我等が唱へ申題目の功德と、何程の多少候べきや(松野殿御返事)	松本師
1月24日(火)	第17日目	万民一同に南無妙法蓮華経と唱へ奉らば、吹く風枝をならさず雨壤を砕かず(如説修行抄)	外園師
1月25日(水)	第18日目	や(矢)のはしる事は弓のちから、くも(雲)のゆくことはりゅう(竜)のちから(富木尼御前御書)	ご住職
1月26日(木)	第19日目	法華経を信ずる人は冬のごとし。冬はかならず春となる。(妙一尼御前御消息)	野口師
1月27日(金)	第20日目	(当日をお楽しみに！)	御導師
1月28日(土)	第21日目	仏になる道は師に仕ふるには過ぎず(身延山御書)	北崎師